



協誌一  
情報  
児報  
民情  
県第35号  
広一



暮らしに福をもちます

沖縄県民生委員  
児童委員協議会

事務所  
沖縄県総合福祉センター  
連絡先

TEL.(098)882-5813  
FAX.(098)882-5814

## 新年のごあいさつ

沖縄県民生委員児童委員協議会  
会長 宮國泰雄



新年、あけましておめでとうござ  
います。

皆様におかれましては、ご健勝に  
て新春を迎えられましたことと、心  
よりお慶び申し上げます。

はじめに、民生委員・児童委員の  
皆様におかれましては、常日頃より  
地域福祉の向上におけるさまざまな  
活動に多大な御尽力をいただきいて  
ることに対し、心から敬意を表する  
とともに感謝申し上げます。

さて、近年わが国では、本格的な  
少子高齢社会の到来に伴い、核家族  
化や単身世帯の増加とともに地域住  
民の意識の変化により、住民同士の  
つながりは希薄化し、孤立や孤独、

われま

また、地域住民に民生委員・児童  
委員の職務がまだまだ十分に理解さ  
れていないというのが現実問題とし  
てあります。このことから、私たち  
民生委員・児童委員が日頃から行っ  
ている相談援助活動や見守り活動等  
を通じて、関係機関等と連携して情  
報の共有を図り、問題解決のネット  
ワークを構築し、地域住民の民生委  
員・児童委員への理解を深め、県や  
市町村の御協力を賜りたいと願う次  
第であります。

日常的に住民の立場に立つて相談  
援助活動や見守り活動を行っている  
民生委員・児童委員の役割は、今後  
ますます重要となることから、民生  
委員・児童委員が活動しやすい環境  
整備を進めていくことが必要であり、  
次期候補者を選出する基盤を広げて  
いくことが期待できると思えます。

今後とも相談・支援等を必要とさ  
れている住民の方々の期待に添うよ  
うな地域づくりに取り組んでいける  
よう、組織の充実を図りつつ、地域  
の住民のつながりを築き、誰もが住  
みなれた地域で安全で安心して自立  
した生活が送れるような社会の実現  
に向けて努力していきたいと存じま  
すので、皆様には一層の御支援、御  
協力をお願い申し上げます。私の  
年頭の挨拶とさせていただきます。

## 民生委員児童委員活動報告

### 明朗で健全な地域社会 づくりを目指して

宮古島市平良第二民生委員  
児童委員協議会

わたしたち宮古島市平良第二民児  
協は、児童福祉部、老人福祉部、障  
がい者福祉部からなる専門部を中  
心に研修会や諸行事・交流会等に積極  
的に参加し、自己研鑽に努めながら  
地域社会の実情を把握し、明朗で健  
全な地域社会づくりを目標に日々活  
動しています。

今回、年間を通して行ってきた活  
動の様子をまとめましたので皆様に  
ご紹介したいと思います。

#### 1. 児童館と民生委員児童委員 との交流会

宮古島市南小型児童館の地域交流  
会が年始めに開かれました。同館と  
利用する子どもたち、民生委員児童  
委員でゲームや踊りを通して交流を  
深めました。

同館では、地域の児童を対象に英  
会話講座を開催、週一回のペースで  
講座を開いています。

今回、同講座が七ヶ月を迎えたこ  
とから、児童たちの中間発表を兼ね

民生委員児童委員との交流会が実施されました。



▲児童との交流

同講座で学んでいる児童らは、英語による自己紹介と歌、踊りを披露し、また、児童らと民生委員児童委員が一緒に参加したキャンデー運びゲームとトレインゲームでは、会場が一体となって盛り上がり、大きな笑い声と暖かい拍手に包まれていました。

## 2. 「鯉のぼり掲揚式」行事に参加して

宮古島市は、毎年五月五日から十一日間を児童福祉週間行事の一環として、「鯉のぼり掲揚式」や保育園児たちの絵画展示を開催しており、児童福祉部も協力参加して園児たちを激励しています。



▶鯉のぼり掲揚式

掲揚式当日は、澄みきった五月の青空に舞う鯉のぼりに夢を託して、子どもたちの元気な歌声が響きわたりました。参加した児童福祉部の民生委員児童委員は、子どもたちの健全な成長と幸せを願う瞬間を意義深くかみしめていました。

その他にも、児童福祉部は各種行事に積極的に参加、協力をし、子どもたちを心身共に健やかに育てるための支援活動や、児童虐待・犯罪被害から幼児・児童生徒を守り、安全・安心な町づくりの推進に努めています。

## 3. 老人福祉部会の活動

老人福祉部は公共施設の見学や高齢者との交流会、サロン訪問、一人暮らし高齢者宅への友愛訪問等の声かけ見守り活動を行っています。特に一人暮らし高齢者の「安否確認」においては、十分に気を配り、出来る限りの情報の共有をしながら注意深く取り組んでいます。

また、サークル活動等への参加を促し、多くの仲間と共にいきいきと明るく過ごされている高齢者は私たちがのお手本となっています。

## 4. 障がい者福祉施設を訪問して

社会福祉施設会ユームツ会 青潮園（身体障がい者擁護・身体障がい者通所授産施設・日中一時支援事業所）を訪問し、施設長より事業内容の説明を受け、施設利用者の生活の様子を見学してきました。

中でも、通所授産作業内容においては、屋内班が施設建物清掃、かりゆしウェア縫製、精米作業を、屋外班が産業廃棄物収集やビニールハウス農産園芸に取り組んでおり、純粋に作業に取り掛かる彼らの姿に感動さえ覚えました。

また、三障がい者スポーツ大会や障がい者フェスティバルでは、各単位民児協同士の協力もあって、舞台発表や交流の場において連携を深めることができました。

今回、紹介した活動以外にもボランティアガイド講座・みやこ学園祭・薬物乱用防止チラシ配布・災害時一人も見逃さない運動等、一人暮らし高齢者や障がい者の台風時の対策確認マップ作り、災害時に活かそう緊急連絡表の作成等、様々な活動に取り組みながら、わたしたち平良第二民児協は今後も互いに切磋琢磨していきながら、支援見守り活動を継続し地域に貢献していきたいと思っています。